

技術基準評価表

様式2-2

受付番号										
新技術の名	〇〇〇工法						登録No.			
							登録年月日			
副題	長繊維を用いた〇〇〇〇地山補強工法						変更登録年月日			
							開発年月	2008.10		
申請者	会社名	〇〇株式会社 福岡支店								
	住所	〒812-8577 福岡市博多区〇〇1丁目1-1								
	開発者との関係	〇〇〇(株)との共同研究による開発								
開発者	会社名	株式会社××								
	住所	〒100-8918 東京都千代田区〇〇1丁目1-1								
区分	工法									
分類	分類 1	共通工	分類 2	法面工	分類 3	地山補強工	分類 4			
申請情報登録番号	新技術・新工法ライブラリーの『申請情報』に登録している場合は、その登録番号を記入。							0702001A		
1 技術の成立性の確認	項目		有無	技術名称		登録番号等				
	NETIS登録(事後評価)		有	〇〇〇工法		QS-95〇〇〇〇-V				
	公的機関による技術審査証明		有	〇〇〇工法		建技審証第〇〇〇〇号				
審査機関				(一財) 土木研究センター						

自動挿入されますので、記入は不要です。

審査結果通知書またはHPでご確認ください。

「有」が一つも無い場合は、「申請情報」へ申請してください。

2 従来技術との比較		比較する従来技術名		厚層基材吹付工	
<div> <div>参考資料の該当ページを記入してください。</div> <div>自動挿入されますので記入は不要です。</div> </div>					
申請者による評価		従来技術	申請技術	従来技術との比較	評価
経済性	建設費	P5	P7	優れている	
	維持管理費	P5	P7	優れている	
県による評価		県積算額	申請技術	従来技術との比較	評価
経済性	建設費				コメント
	維持管理費				
<div> <div>評価項目2</div> <div>参考資料の該当ページを記入してください。</div> </div>					
申請者による評価		従来技術	申請技術	従来技術との比較	評価
安全性	墜落・転落事故の危険性が減少するか	P9	P9	優れている	
	重機災害の危険性が減少するか	P10	P10	優れている	
	飛来・落下物災害の危険性が減少するか	P11	P11	優れている	
	作業環境が向上するか(暗がり、騒音、狭所作業の減少)	P12	P12	同等程度	
	危険物の取り扱いが減少するか	P13	P13	同等程度	
施工性	工程(施工日数)	P14	P14	優れている	
	現場での施工が減少するか	P15	P15	優れている	
	仮設工が減少するか	P16	P16	優れている	
	作業員の負担が減少するか	P17	P17	優れている	
	熟練度に依存した作業が減少するか	—	—	不明	
	施工の機械化の程度は向上するか	—	—	不明	
環境保全	周辺の大気汚染・土壌汚染・水質汚染が減少するか	P18	P18	優れている	
	騒音・振動・粉塵・交通規制等が減少するか	P18	P18	優れている	
	建設副産物の発生量が減少するか	P18	P18	優れている	
	周辺の自然・生態環境・景観との調和は向上するか	—	—	不明	
	省エネルギー・省資源化が向上するか	—	—	不明	
品質	品質は向上するか	P19	P21	優れている	
	耐久性は向上するか	P23	P25	優れている	

3 技術の適用性の確認			
適用範囲	施工時の天候条件	強風下(風速10m程度以上)での作業はできない。	
	作業スペース、支障物件等の制約条件	長繊維混合ヤードとして、10m2程度必要。	
	適用できない範囲	吹付マシン使用の場合、鉛直高50m以上は施工できない。 (参考資料P26)	
	その他	吹付マシン使用の場合、機械据付スペースとして、幅2.0m程度必要。	
施工・品質管理	技術指針・設計指針	参考資料P27	
	出来形管理基準	参考資料P35	
	品質管理基準	参考資料P36	
問題発生時の対応方法		〇〇があった場合、△△をすることにより、復旧可能である。 (参考資料P37)	
4 その他			
特筆事項 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;"> 特にPRしたい点等を記入してください。 (空欄でも可) </div>		従来、人力作業が必要であった吹付作業を、遠隔操作によるロボット化にすることにより、高所作業の危険性を排除した。	